

2022年10月2日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒38番（旧23番）（SK姉）

『世々に誉むべし』

聖書⇒ヨハネの黙示録4:8~11節（MM姉）

『この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その周りにも内側にも、一面に目があった。彼らは、昼も夜も絶え間なく言い続けた。

「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、/
全能者である神、主、/
かつておられ、今おられ、やがて来られる方。」

玉座に座っておられ、世々限りなく生きておられる方に、これらの生き物が、栄光と誉れをたたえて感謝をささげると、二十四人の長老は、玉座に着いておられる方の前にひれ伏して、世々限りなく生きておられる方を礼拝し、自分たちの冠を玉座の前に投げ出して言った。

「主よ、わたしたちの神よ、/あなたこそ、/栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方。
あなたは万物を造られ、/御心によって万物は存在し、/また創造されたからです。」』

礼拝讃美歌⇒23番（旧152番）

『聖なる聖なる聖なるかな』

聖書⇒詩編92:2~7節（SK兄）

『いかに楽しいことでしょうか/主に感謝をささげることは/いと高き神よ、御名をほめ歌い
朝ごとに、あなたの慈しみを/夜ごとに、あなたのまことを述べ伝えることは
十弦の琴に合わせ、豎琴に合わせ/琴の調べに合わせて。

主よ、あなたは/御業を喜び祝わせてくださいます。わたしは御手の業を喜び歌います。

主よ、御業はいかに大きく/御計らいはいかに深いことでしょうか。
愚かな者はそれを知ることなく/無知な者はそれを悟ろうとしません。』

（祈）

礼拝讃美歌⇒13番（旧153番）（KH姉）

『わが主よ星の輝く』

聖書⇒出エジプト記 16:4ab 節 (NH 兄)

『主はモーセに言われた。「見よ、わたしはあなたたちのために、天からパンを降らせる。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 6:51ab 節

『わたしは、天から降って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。』

礼拝讃美歌⇒405 番

『愛する者を養うために』

(祈)

《パン裂き》

聖書⇒ルカによる福音書 10:22~24 節 (SK 兄)

『すべてのことは、父からわたしに任せられています。父のほかに、子がどういう者であるかを知る者はなく、父がどういう方であるかを知る者は、子と、子が示そうと思う者のほかには、だれもいません。』それから、イエスは弟子たちの方を振り向いて、彼らだけに言われた。「あなたがたが見ているものを見る目は幸いだ。言うておくが、多くの預言者や王たちは、あなたがたが見ているものを見たかったが、見ることができず、あなたがたが聞いているものを聞きたかったが、聞けなかったのである。』

(式)

礼拝讃美歌⇒4 番 (旧 7 番)

『アバ父と神を』

《建徳》

聖書⇒エズラ 1 章 (NH 兄)

『ペルシアの王キュロスの第一年のことである。主はかつてエレミヤの口によって約束されたことを成就するため、ペルシアの王キュロスの心を動かされた。キュロスは文書にも記して、国中に次のような布告を行き渡らせた。

「ペルシアの王キュロスはこう言う。天にいます神、主は、地上のすべての国をわたしに賜った。この主がユダのエルサレムに御自分の神殿を建てることをわたしに命じられた。あなたたちの中で主の民に属する者はだれでも、エルサレムにいますイスラエルの神、主の神殿を建てるために、ユダのエルサレムに上って行くがよい。神が共にいてくださるように。すべての残りの者には、どこに寄留している者にも、その所の人々は銀、

金、家財、家畜、エルサレムの神殿への随意の献げ物を持たせるようにせよ。」

そこで、ユダとベニヤミンの家長、祭司、レビ人、つまり神に心を動かされた者は皆、エルサレムの主の神殿を建てるために上って行こうとした。周囲の人々は皆、あらゆる随意の献げ物のほかに、銀と金の器、家財、家畜、高価な贈り物をもって彼らを支援した。キュロス王は、ネブカドネツアルがエルサレムの主の神殿から出させて、自分の神々の宮に納めた祭具類を取り出させた。ペルシアの王キュロスは財務官ミトレダトによってそれを取り出させ、ユダの首長シェシュバツアルの前で数えさせたところ、その数は次のとおりであった。金の容器三十、銀の容器一千、小刀二十九、金杯三十、二級品の銀杯四百十、その他の祭具一千、以上金銀の祭具の合計五千四百。シェシュバツアルは、捕囚の民がバビロンからエルサレムに上って来たとき、これらの品々をすべて携えて上った。』

聖書⇒ダニエル書 5:21 節

『父王様は人間の社会から追放され、心は野の獣のようになり、野生のろばと共に住み、牛のように草を食らい、天から降る露にその身をぬらし、ついに悟ったのは、いと高き神こそが人間の王国を支配し、その御旨のままに王を立てられるのだということでした。』

聖書⇒エレミヤ書 25:11~12 節

『この地は全く廃虚となり、人の驚くところとなる。これらの民はバビロンの王に七十年の間仕える。七十年が終わると、わたしは、バビロンの王とその民、またカルデア人の地をその罪のゆえに罰する、と主は言われる。そして、そこをどこしえに荒地とする。』

聖書⇒エレミヤ書 29:10 節

『主はこう言われる。バビロンに七十年の時が満ちたなら、わたしはあなたたちを顧みる。わたしは恵みの約束を果たし、あなたたちをこの地に連れ戻す。』

聖書⇒イザヤ書 44:28~45:1 節

『キュロスに向かって、わたしの牧者／わたしの望みを成就させる者、と言う。

エルサレムには、再建される、と言い／神殿には基が置かれる、と言う。

主が油を注がれた人キュロスについて／主はこう言われる。

わたしは彼の右の手を固く取り／国々を彼に従わせ、王たちの武装を解かせる。

扉は彼の前に開かれ／どの城門も閉ざされることはない。』

聖書⇒歴代誌下 36:22~23 節

『ペルシアの王キュロスの第一年のことである。主はかつてエレミヤの口を通して約束されたことを成就するため、ペルシアの王キュロスの心を動かされた。キュロスは文書にも記して、国中に次のような布告を行き渡らせた。「ペルシアの王キュロスはこう言う。天にいます神、主は、地上のすべての国をわたしに賜った。この主がユダのエルサレムに御自分の神殿を建てることをわたしに命じられた。あなたたちの中で主の民に属する者はだれでも、上って行くがよい。神なる主がその者と共にいてくださるように。』

聖書⇒エズラ記(ギリシア語)2:12~13 節

『その数は金杯千、銀杯千、銀の香炉二十九、金の器三十、銀の器二千四百十、その他の祭具類千である。引き渡された祭具類の総計は、金製・銀製合わせて五千四百六十九であった。』

聖書⇒フィリピの信徒への手紙 2:13 節

『あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。』

聖書⇒ヨハネの黙示録 17:17 節

『神の言葉が成就するときまで、神は彼らの心を動かして御心を行わせ、彼らが心を一つにして、自分たちの支配権を獣に与えるようにされたからである。』

聖書⇒詩編 122:1b 節

『主の家に行こう、と人々が言ったとき／わたしはうれしかった。』

礼拝讃美歌⇒214 番（旧 92 番）

『主よ君の愛は限りぞなき』

《建徳要旨》